

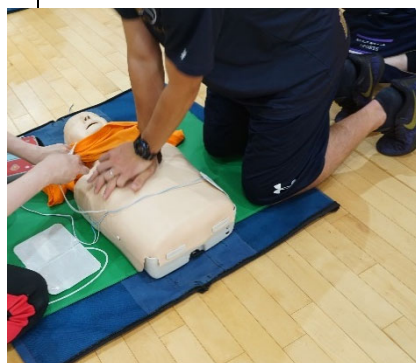


記入日	2019 年 12 月 10 日 (2019 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	目黒星美学園中学高等学校
実践番号 (団体内・年度内の通し番号)	39 (教員研修①)
タイトル	教員の防災防犯 1 日研修
実践担当者のお名前	安達 (防災係)
実践にかかった金額	3 万円未満 (炊き出し訓練, 文房具)
実践の準備にかかった時間	数時間
実践活動を実施した日時	2019 年 8 月 30 日 9 時 00 分～15 時 00 分
実践の所要時間	6 時間
実践の運営側で動いた人の人数	7 人
防災教育の対象者の属性	教職員
防災教育の対象者の人数	約 50 人
実践を行った都道府県と市区町村	東京都世田谷区
実践を行った具体的な場所	目黒星美学園中学高等学校 大会議室・調理室・ラウンジ
★実践に必要だった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	炊き出し訓練: アルファ米炊き出しセット・カレー (期限の近いものを消費) ヒヤリハットマップ: 近隣地図・丸いシール 救命講習: 救命講習指導員・AED・訓練用入形

達成目標	【目的・目標】 ・防災が非常時に向けた危機意識の向上であるのに対し, 防犯は日常の危機意識の向上と言える。防災と防犯の両面から取り組みを強化することで, 全体の意識向上を目指す。 【背景・経緯】 ・本校では, 4 年前から教職員を対象とした「一日防災研修」を実施している。例年, 地震対応に重点を置いた研修をすることが多いが, 今年度は防犯・防災両面を強化する研修を行うことにした。
------	---



実践内容・方法	(1) 事前準備 ・救命講習申し込み（4月）→管轄の消防署 ・炊き出し訓練の準備・備蓄食料の期限確認（7月） ・防犯研修用パワーポイント・資料作成（7月） ・近隣地図のコピー（8月） ・シールの購入（8月） ・火災報知器・防火扉の管理業者への連絡（8月） (2) プログラム・当日の流れ 9:00～9:30 地震発生時の初動訓練 9:30～12:00 防犯研修 12:00～13:30 昼食（炊き出し訓練）＆ヒヤリハットマップ作り 校内防犯ツアー・発電機試運転 13:30～15:00 救命講習（90分コース） 15:00～15:30 火災報知器・防火扉訓練 地震発生時の初動訓練 6月の全校防災訓練の経験を踏まえて、「地震発生時に管理職がいない」という設定で、初動訓練を行った。 防犯研修（詳細は省略） これまでは、地震発生を想定した研修を行ってきたが、今年度は、日常の危機意識を高めるために、午前中は防犯研修を行った。 炊き出し訓練 メニュー：アルファ米（白米）とカレー ヒヤリハットマップ作り（ワークショップ） 昼食のテーブルごとに、マップ作りに取り組んだ。 「防災」「防犯」「日常」の視点から、気づいたこと・気になることを出し合い、色別のシールを貼った。
---------	--



救命講習 (90 分コース)

年によっては、3 時間コースを受講している。

火災報知器・防火扉訓練

6 月の全校防災訓練の際に消防からの講評の中で、火災報知器が鳴ったときの教員の動作について、不十分だったと指摘を受けた。

→実際に、訓練として火災報知機を鳴らして、警報盤の表示を確認したり、防火扉が閉まる様子を観察した。(一連の作業は、管理業者に依頼)

得られた成果

- ・ 防災と防犯の両面から取り組みを強化することで、全体の意識向上が図れた。

課題・苦労・工夫

苦労

工夫

- ・ 毎年、教員でアイデアを出し合いながら、手作りで研修を企画している。企画や資料探しは、やりがいがあるが苦労している。
- ・ 2 学期のに生徒に、教員研修の報告をした。特に、6 月の防災訓練で消防士の方から指摘された「先生の反省点」を改善すべく、初動訓練と防火設備の訓練を行ったことを報告した。